

うに郷通信

No.139
令和3年(2021)1月

発行：宇仁郷まちづくり協議会（編集：情報部会）

年頭のご挨拶

会長 稲木善英



新年あけましておめでとうございます。

近年、宇仁地区でも高齢化が進む中運転免許証の返納者等が増加し、商業施設や医療機関への移動手段の確保が困難になってきています。そこで協議会では「デマンドバス等の導入で住民の足確保が不可欠」との共通の認識が丸岡会長時代から醸成されて来ました。先進地視察や検討会議などの具体的な取り組みを始めたのは、常峰会長時代からでした。

現在の私達の取り組みはその後を引き継いだ形になりますが、加西市や「加西市公共交通活性化協議会」の大きな協力を得ながら事業の推進を図ってきています。コロナ禍の影響で少し遅れましたが、10月1日より「宇仁ふれあいバス」（略称 うにバス）の試験運行を開始しました。

加西市のモデルになると言われるこの事業ですが、ここまで順風満帆に来たのかと言えばそう平坦なものではなく、途中で横やりやコロナ禍が進行を阻害したりする苦闘時期もありました。そのような時でも、区長さんや地域の多くの皆様に支えられ、『やっとここまでたどり着いた』と言うのが実感です。

早いもので、12月末で導入してまる3ヶ月になるうにバスですが、7人のベテランドライバーが交代で運転しています。「いい買い物ことができました。バス導入まで大変だったと思いますがバスが走ってうれしい。今後も利用したい。」等お客様から激励の言葉をいただいたとき、運転手は、「疲れがいつぱんに吹き飛ぶ気持ち」になっています。今後岡本部長や2人の前区長さんを中心に「地域ニーズを実現するうにバス」を目指して頑張る参りますので応援をよろしくお願いいたします。

その他、昨年は宇仁の朝市をはじめ、9部会がコロナ禍に細心の注意を払いながら、ほとんど休むことなく頑張る事業を推進してきました。本年も皆様方のご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げ、新年の挨拶といたします。



「宇仁郷の歴史と紅葉」ハイキングを催して



老人クラブは「のばそう！健康寿命 担おう！地域づくり」をテーマとして活動しており、宇仁地区老人クラブにおいても「健康づくり事業」を実施しています。本年は三密を避けて11月22日(日)に八王子神社から大歳神社のコースでハイキングを行いました。

宇仁っ子ふるさとガイド隊に神社や神木などの解説してもらいながら、ガイド隊・父兄・老人会会員など60数人が参道の石段を上がり、鏡山を縦断するように歩きました。その後、老人会会員と有志らで油谷川に沿って大歳神社へ向かいました。川沿いにはコスモスが咲き、川の深みには鯉が悠々と泳ぎ、空には一筋の飛行機雲が描かれているという素晴らしい日に恵まれました。

また、もみじが色づいている大歳神社に着くと地元の方が神社の清掃をされており、大歳神社のいわれや八王子神社との関わりなどの話を聞くことができ、大変有意義なひとときを過ごすことができました。

気力や体力が徐々に落ちて要介護状態になる前の状態を「フレイル」というそうです。フレイル予防には「運動・栄養・社会参加」が欠かせないとのこと。

誰も健康で生き生きとした生活を望んでいます。フレイルに陥らないために、今やっていることに何か一つを加えてみてはいかがでしょうか。
(宇仁地区老人会会長 常峰比登志)

綿の種を配りました！



12月12日(土)滝野温泉「ぼかぼ」において、宇仁小学校3年生の児童12人が「綿の種」を午前8時から約1時間、宇仁の朝市に来られたお客さんに手渡しで配りました。本来であれば「さつまいもまつり」の時に、綿の種を風船にくくり付けて飛ばしていましたが、今年度はコロナウィルスの影響で中止されたとのことでした。

当日は天気も良く、校長先生や担任の先生の他、保護者の方も多数参加され、用意した綿の種160袋のほとんどを元気いっぱい配ることができました。受け取られた方も一度育ててみようとおっしゃっていました。

最後に、旧年中はお世話になりありがとうございました。今年も引き続き「宇仁の朝市」をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。
(朝市部会)

大王松と共に

昭和16年(1941)4月より宇仁尋常小学校が多加野村宇仁国民学校に変わり、私たち35人(男20、女15)が初等科1年に入学、その中に油谷町吉田酒造の文哉君がいて、入学記念樹に大王松というカエデが寄贈され、常見校長先生と中村先生や私たちが見守る中、大王松は現在地に、いろはカエデは当時の二宮尊徳(金次郎)銅像の西隣に、岡田用務員さんが植樹されました。昭和34年(1959)の旧校舎新築時に移植されたのか、いろはカエデは所在不明です。

大王松はすくすくと年輪を重ね、見事な大樹となり、移り行く宇仁小学校の歴史を見守ってきましたが、近ごろ樹勢に陰りが見られ、樹医さんの診断を受けたようですが、もうあと少し私たちのいるうちは変わらぬ勇姿でいて欲しいと願っています。頑張れ大王松！！

(大王松の同期生)



体育館北側の大王松

宇仁郷歴史資料館だより

Vol. 3.06

吉田省三記念文庫がオープンして1年に!!

令和2年5月末で、記念文庫がオープンして1年になりました。宇仁郷まちづくり協議会のホームページを見たとき町から1人目の来館者がありました。この方は、北播磨の歴史に興味のある方で、以降7回来館されています。その他、地区外の歴史愛好家の来館もあります。

日曜日の午前中、お手すきの時間にどのような歴史書があるのか、どのような古文書の展示があるのかを見に来てください。他の人に邪魔にならない程度のおしゃべりも歓迎です。豊富な文学書を借りて帰ってお読みください。貴重な写真集などもありますので、資料館で閲覧してください。

令和2年5月末現在の会員数は145人、1年間の来館者は130人、貸出実績は84冊です。

歴史資料館では多くの方に来館していただくために、3月に宇仁郷全戸・関係機関へ配布したパンフレットの詳細版を今後作成して配布する予定です。



古文書の展示

開館日 毎日曜日9時30分～12時